

## 社団・財団法人と関連する任意団体の整理・管理

今回は、公益/一般の社団・財団法人と関連する任意団体の整理・管理について概説する。

### (ポイント)

- 任意団体の意義
- 任意団体の整理
- 任意団体の役割
- 任意団体の運営体制(人事、組織)
- 任意団体の会計、税務申告

### 1. 任意団体の意義

任意団体とは特定目的のために活動する、法人格を有しない任意の団体のことである。○○協会、××連盟、政治団体△△、☆☆学会、互助会などの名称を使用し、構成員や会費等の資金を有して独自活動を行う。

### 2. 任意団体の整理

公益法人・一般法人には、人事や活動、組織、目的、取引などにより関連した任意団体が存在することがある。中には存在意義や役割がない、または役割をもっと明確にする必要がある団体(法人化すべき)もある。この任意団体の整理は以下の論点がある。

### 3. 任意団体の役割

公益法人等の事業との関連や任意団体の目的、活動内容を考慮し役割を明確にし、必要性や整理方法を検討する必要がある。

### 4. 任意団体の運営体制(人事、組織)

会長や理事など任意団体の役員と公益法人・一般法人の役員との兼務など運営に係る人事の調整も不可欠である。事業活動上、明確に独立させるべき団体は、公益法人等と人事上の分離も必要である。公益法人等の意思決定機関(社員総会／評議員会、理事会、監事)と、任意団体の意思決定機関は別とすべきこともある。同一会議内の実施や招集通知や議事録なども一緒にはできない。任意団体は独立組織として団体独自のルールを決め、規約・規程等整備の必要がある。逆に任意団体を公益法人等に取り込む場合には機関やルールの整理が重要となる。

### 5. 任意団体の会計、税務申告

任意団体は独立して、収益、費用、財産などを決算書に反映する必要がある。必要に応じて監事による監査も行う。また、税務上は「人格のない社団等」として、収益事業等を行う場合に税務申告が必要となる。

#### 法人格を有する団体

##### 非営利法人

- ・一般法人
- ・公益法人
- ・NPO法人
- など

##### 営利法人

- ・株式会社
- ・合資会社
- など

#### 法人格を有しない団体(任意団体)

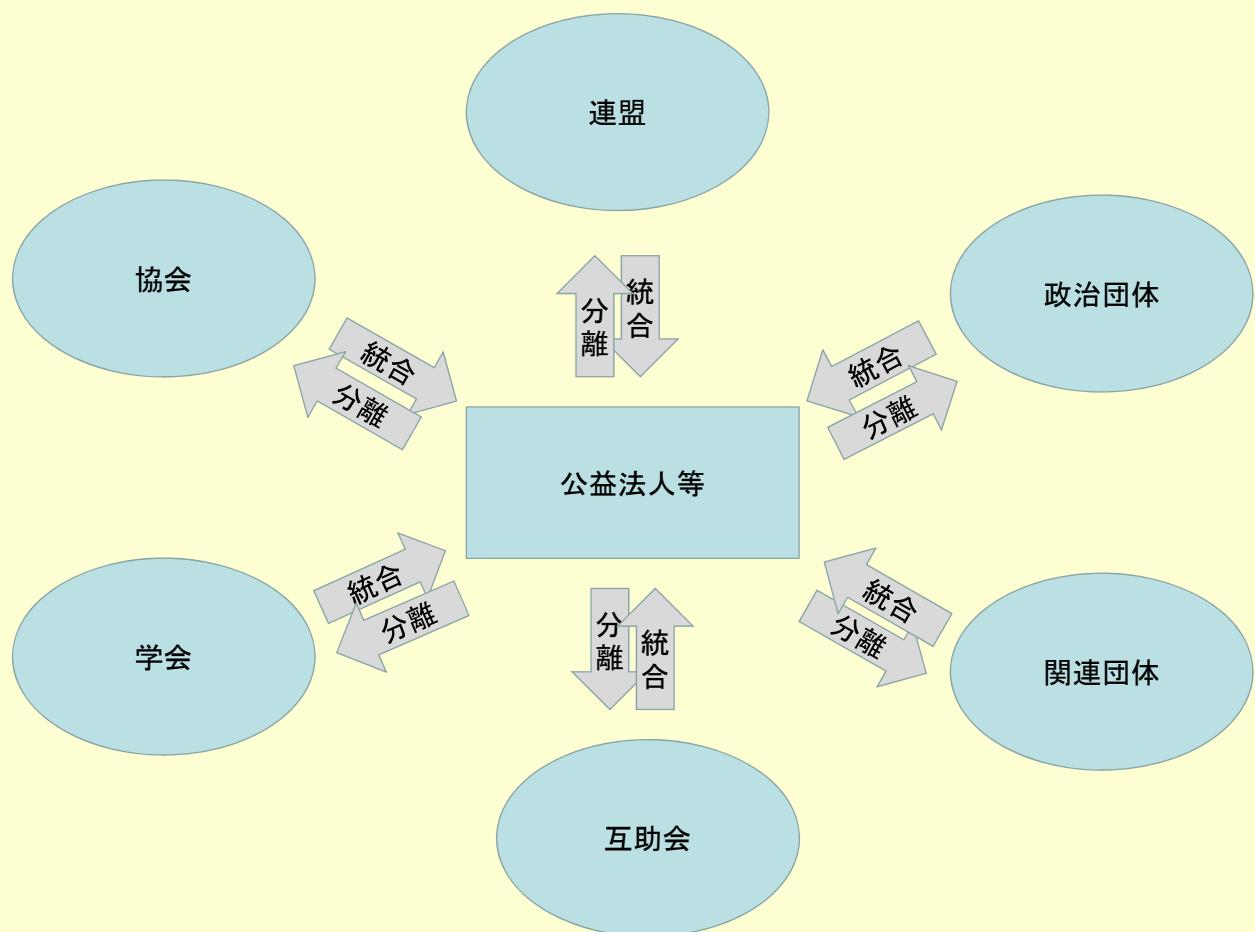
- ・協会、連盟、政治団体、学会、互助会
- ・自治会等の地域団体
- ・サークル、同窓会

(裏面に続く)



# 社団・財団法人と関連する任意団体の整理・管理

## 任意団体の整理(統合／分離)



(注)上記図は、公益法人等と関連する任意団体を例示している。名称や分離・統合等の動向は任意で記載している。

(朝日税理士法人 公益法人チーム編集)

## シリーズ:社団・財団法人の実務家のひとこと

### <AIやベーシックインカムと公益>

将来、人工知能(AI)が発達し人間の知性を超えると人間生活に大きな変化があるとされている。AI進化が急速に進むと懸念されることは、AIに仕事を奪われることによる失業者増加である。ここでは失業者対策を考えず、働くかずに生活を支える考え方として、馴染みがなく実際の実現は非常に困難なことではあるが「ベーシックインカム」というものがある。衣食住など生活最低限のお金を政府から全市民へ定額支給するという考えで、社会保障制度である失業給付や年金給付などを一律・一本化、公務員縮小で負担と給付の整理を行う。働きたくて働く人には高率の課税を行う。仕事のためだけに生きるのではなく、人間的で創造的な人生を送ることができるとされる。一方でモラルハザードや働く意欲減退問題、社会構造の大きな変化など影響は計り知れない。万一実現すると、AI等の技術革新や人々の働く意識の変化の中、障害者や生活保護者の支援も不要となり、公益法人の役割にも大きな変化が訪れることがあろう。公益とは何ぞやとの根本思想にも行き着きそうである。

朝日税理士法人 担当:木村 匡成 kimura@asahitax.jp

東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館A 5階 Tel:03-3556-6000 Fax:03-3556-6001

<http://www.asahitax.jp/index.html>

本資料は、社団・財団法人向け的一般的な情報提供を目的としたものです。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。